

高校生ワークショップの結果について

- 1 実施内容 本県の現状について説明を受けた後、グループに分かれワークショップを行い、テーマに対する意見をとりまとめた。
- 2 テーマ
 - (1) 「自分が思う福島の“たからもの”」
 - (2) 「みんなの力で解決したいこと」
 - (3) 「福島の未来をつくるために高校生の私たちができること・すべきこと」
- 3 実施日
 - (1) 郡山会場
日 時：令和元年12月23日（月） 13時～16時30分
会 場：県立郡山北工業高等学校
参加者：33名
 - (2) 会津会場
日 時：令和元年12月24日（火） 13時～16時30分
会 場：県立会津学鳳高等学校
参加者：20名
 - (3) 福島会場
日 時：令和元年12月25日（水） 13時～16時30分
会 場：県立福島明成高等学校
参加者：22名
 - (4) いわき会場
日 時：令和元年12月25日（水） 13時～16時30分
会 場：県いわき合同庁舎
参加者：20名
- 4 内容（主な意見）
 - (1) テーマ「自分が思う福島の“たからもの”」
 - ・豊かな自然（磐梯山、猪苗代湖、尾瀬、水がきれい）
 - ・観光地（鶴ヶ城、アクアマリン、ハワイアンズ、白水阿弥陀堂、須賀川花火、温泉地、五色沼）
 - ・特産品（果物（桃）、米、酪王牛乳、喜多方ラーメン、いか人参、薄皮まんじゅう、ままだーる）
 - ・伝統（漆器、赤ベコ、じゃんがら念仏踊り）
 - ・県民風土（やさしい人柄、親切、偉人（野口英世））
 - ・文化・スポーツ（合唱、プロサッカー）

(2) テーマ「みんなの力で解決したいこと」

- ・ 震災復興、風評被害
- ・ 少子高齢化
- ・ 地球温暖化
- ・ 質の高い教育による学力向上、学習環境の充実
- ・ 福祉医療を含めた都市機能の充実、高齢者施設の充実
- ・ 公共交通機関の充実
- ・ ふくしまの遊び場の開発、充実
- ・ 増える災害への対策
- ・ 働く場所、職種の充実
- ・ 自然や農地の管理、活用



(3) テーマ「福島の未来をつくるために高校生の私たちが
できること・すべきこと」

- ・ 風評被害の払拭のため、受け身にならない。積極的な情報発信
- ・ 県について自分たちが理解を深め、福島の良さや正しい情報を SNS 等で発信する
- ・ 地域 PR の CM を高校生で作る
- ・ 若者の議会をつくり、若い人たちを起点に意見を増やす
- ・ 自分から声を上げ高校生同士の交流や生徒主体の啓蒙活動
- ・ チームとして県内外でみんなで同じ活動をし共有する
- ・ 新しい伝統をつくる
- ・ 自分たちが勉強を頑張る！まずは周りよりも自分から！
- ・ 地域イベントへの参加やボランティア活動
- ・ 県内就職、進学して地元を支える
- ・ 自然を大事に自然をアピール



5 主な発言

- ・ 自分たちが地元を知り、高校生目線の情報発信により新しい福島の魅力を知ってもらおう
- ・ 震災を経験した若者だからできることを多くの人、次世代へ伝えていく
- ・ 未来をつくるためには「人との交流」
- ・ 交通の改善がうまくいけば山間部に住みつつ通勤、通学ができる
- ・ 災害時の復興に協力できるボランティア団体を高校生から集め社会貢献していく
- ・ 高校生の考えを述べることで、地域を動かせられるという期待をもてた
- ・ 学んだことは実行してこそ生きるため情報を共有していく など